



令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 兼 令和元年度 全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会北海道予選会開催要項

主 催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道バレー協会
援 助 稚内市・稚内市教育委員会・稚内市体育協会・豊富町教育委員会
管 球 北海道高等学校体育連盟バレー専門部・北海道高等学校体育連盟名寄支部・稚内バレー協会
当 校 北海道稚内高等学校 (〒097-0017 稚内市栄1丁目4-1 TEL 0162-33-4154)

1 期	日	令和元年6月12日(水)～6月15日(土)	稚内市総合体育館	1F クラブ室	1F ミーティングルーム	2F 体育室	メインアリーナ
	6月12日(水)	13:30 専門委員会議 14:30 審判委員研修会 15:00 監督・主将会議 16:00 開会式	稚内市総合体育館				
	6月13日(木)	9:00 競技開始 [女子] [男子] ※豊富会場は10時競技開始 〃 16:30 (予定) 抽選会	(予選グループ戦) 稚内市総合体育館 稚内大谷高等学校 稚内市緑体育館 北海道稚内高等学 稚内市立稚内東中学校 北海道豊富高等学 豊富町スポーツセンター	(A) (B) (C) (D) (E) (F) (G) (H)	・ コート コート コート コート コート コート コート		
	6月14日(金)	9:30 競技開始 [女子] [男子] ※豊富会場は10時競技開始 〃	(ブロック決勝トーナメント戦) 稚内市総合体育館 稚内大谷高等学校 稚内市緑体育館 北海道稚内高等学 稚内市立稚内東中学校 北海道豊富高等学 豊富町スポーツセンター	(A) (B) (C) (D) (E) (F) (G) (H)	・ コート コート コート コート コート コート コート		
	6月15日(土)	9:00 競技開始 [女子] [男子] 競技終了後閉会式	(決勝リーグ戦) 稚内市総合体育館 稚内市総合体育館 稚内市総合体育館	(A) (B) メインアリーナ	コート コート コート		

2 会 場	稚内市総合体育館	(A)	・	B コート	稚内市富士見4丁目	TEL 0162-28-1111
	稚内大谷高等学	(C	コート	稚内市富岡1丁目1-1	TEL 0162-32-2660
	稚内市緑体育館	(D	コート	稚内市緑2丁目	TEL 0162-22-1050
	北海道稚内高等学	(E	コート	稚内市栄1丁目4番1号	TEL 0162-33-4154
	稚内市立稚内東中学校	(F	コート	稚内市潮見5丁目1-29	TEL 0162-33-7832
	北海道豊富高等学	(G	コート	豊富町字上サロベツ475	TEL 0162-82-1709
	豊富町スポーツセンター	(H	コート	豊富町字上サロベツ2010	TEL 0162-82-2659

3 競技規則 2019年度 公益財団法人日本バレー協会6人制競技規則による。

4 参加資格

- (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。(全道高校体育大会基準による)
- (2) 北海道バレー協会登録チーム・公益財団法人日本バレー協会個人登録選手であること。
- (3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志のある者。
- (4) 平成12年4月2日以降に生まれた者。ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。
- (7) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ (4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
 - ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - エ 部員不足による合同チームの大会参加を認める。
 - [大会参加資格の別途規定]
 - 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。
 - 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められる。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

(8) 資格違反は、発覚時に失格とする。また発覚が試合終了後は、専門部で審議の上、処置を決定する。

5 引率・監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。
なお、引率責任者と監督が同一の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条に示された者）も可とする。
- (2) 監督・コーチが校長の認める外部指導者の場合は、道高体連災害補償制度に必ず加入することを条件とする。また高体連バレーボール専門部長に文書をもって4月末日までに届け出ること。
- (3) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

6 チーム構成

- (1) チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。但し選手登録は18名以内とする。
- (2) 課程（全日制課程・定時制課程・通信制課程）ごとの生徒によるチームであること。
- (3) マネージャーは当該校の教職員または生徒でなければならない。
- (4) 参加申込書に記載された引率責任者、監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督・主将会議の際、最終エントリーにより届け出なければならない。それ以降は認めない。ただし、選手の変更があっても番号の変更は認めない。
- (5) 構成メンバー以外の登録選手は、ボールキーパー、クイックモッパーとして参加できる。（ユニフォーム以外の統一した服装）
- (6) 14名の選手の内、外国人留学生は2名までエントリーできるが、コートへはその内の1名に限る。（北海道高等学校体育連盟及び高体連バレー専門部長に文書をもって4月末日まで届け出、承認を得た者であること）

7 代表チーム数

- (1) 男子支部総数を19、女子支部総数を26とし、専門部の裁量を男女とも3とする。
平成23～25年の全道大会出場チーム総数の平均を予選出場総数に対する支部予選出場割合により各支部に割り当て、次に専門部の裁量により、直近の過去3年間（平成28～30年）の出場校数に基づいて割合を計算し、男女3チームずつを選出する。
上記の手順により、令和元年度の各支部の代表校を次の通りとする。

	函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧路
男子	2	3	1	7	1	2	1	2	1	2
女子	3	3	2	8	2	3	2	2	2	2

- (2) 開催支部はさらに1チーム出場可とする。（原則として当番校とする）
(3) 全国大会には、男子1チーム、女子2チームを代表とする。

8 競技方法

- (1) 1日目は4～3チーム1グループによる予選グループ戦、2日目は4ブロック決勝トーナメント戦、最終日は決勝リーグ戦とする。
(2) 大会使用球は、男子モルテン[V5M5000]、女子ミカサ[MVA300]とする。

9 組み合わせ

- (1) 予選グループ戦事前抽選は道高体連バレー専門部が行う。
(令和元年5月31日（金）14:00 北海道稚内高等学校会議室)
- (2) ブロック決勝トーナメント戦は、直接抽選とするが、シード、地区シードを行う。
- (3) シードはシード委員会による。シード委員は、委員長、副委員長、委員若干名として、道専門部指名とする。

10 参加申込

- (1) 大会要項・大会参加申込様式のダウンロード
北海道稚内高等学校HP <http://www.chikou.hokkaido-c.ed.jp>
- (2) 申込方法 ①「参加申込書（押印済み）」、「JVA MRSチーム加入選手一覧」、「2019北海道高等学校体育大会バレー専門部競大会参加チームへのお願い」の3枚を当番校へ郵送すること。
②プログラム記載用選手名簿を下記メールアドレスへ添付して送信すること。
送信先：yumikontomin8877@hokkaido-c.ed.jp
- (3) 申込先 ☎097-0017 稚内市栄1丁目4-1 北海道稚内高等学校内
令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレー専門部競技大会 事務局 武内 裕美子 宛
TEL：0162-33-4154 FAX：0162-33-4155
- (4) 申込期限 令和元年5月29日（水）

11 参加料

参加申込書にある記載選手人数分（1名1,500円、マネージャーは含まない）を下記の銀行口座に振り込むこと。なお、入金後の記帳にはチーム名が分かるように手続きをすること。（例 稚内女子）
〔参加料振込先〕 稚内信用金庫 南支店 普通預金 口座番号1217201
北海道稚内高等学校高体連 代表 元紺谷 尊広

12 表彰

- (1) チーム表彰 優勝、準優勝、3位、4位
(2) 個人表彰 ベスト14（男女）
(3) 優勝監督賞

13 諸会議

- (1) 予選グループ戦事前抽選会 令和元年5月31日（金）14:00 北海道稚内高等学校会議室
(2) 北海道高体連バレー専門委員会議 令和元年6月12日（水）13:30 稚内市総合体育館 1Fクラブ室
(3) ブロック決勝トーナメント戦抽選会 令和元年6月13日（木）16:30 予定 稚内市総合体育館 2F体育室

14 その他

- (1) 胸章については監督はⒶ、コーチはⒷ、マネージャーはⒸ、チームキャプテンは胸部の番号の下に8×2cmのマークを付けなければならない。
- (2) 競技者番号は1～18とし、胸部の高さは最小限15cm、背部の高さは最小限20cmのものを用い、明瞭で区別できるように、見やすく身体中央部につける。
- (3) チームは色の異なる2種類のユニフォームを用意しなければならない。
- (4) 練習のための外運動靴と内運動靴を区別して持参すること。
- (5) 予選グループ戦・ブロック決勝トーナメント戦のスコアラー1名・アシスタントスコアラー2名・ラインジャッジ4名・点示2名の計9名は参加チームにおいて行うこととする。（決勝リーグ戦は除く）
- (6) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ、サンダル、スリッパでのベンチ入りはできない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。
- (7) ユニフォームは、競技規則通り統一されなければならない。（ソックスを含む）また、踝が完全に隠れるソックスを着用する。
- (8) 今大会の男女ベスト4のチームを第72回全日本バレー専門部選手権大会北海道代表決定戦の推薦とする。
- (9) 今大会の優勝チームを第13回天皇杯・皇后杯全日本6人制バレー専門部選手権北海道ブロックラウンドに推薦する。

競技・審判上の確認

競技委員長 石崎 賢

審判委員長 鈴木 和彦

1 競技規則について

(1) 2019年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。

なお、大会使用球は、
男子：モルテン製カラー ボール「V5M5000」
女子：ミカサ製カラー ボール「MVA300」とする。

2 チーム構成について

(1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手を構成メンバー表にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者（校長が認める当該校の教員）を届け出なければならない。

(2) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、監督・主将会議終了後、ただちに競技委員長に届け出なければならない。

(3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに指定の構成メンバー表に記入し、本部席まで提出する。試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出する。

(4) 構成メンバーとは試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 ベンチの着席について

(1) 監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の教職員、マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。ただし、監督・コーチがともに外部指導者の場合は、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。なお、引率責任者はベンチに入ることはできない。

(2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれ左胸にマークをつけなければならない。

(3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置のチームベンチに座る。ただし、試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。

※主審に向かって左側にベンチがある場合・・・ラインジャッジ（L2）の判定に影響がある場所には立たないこと。

(4) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

4 コートワイピングについて

(1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名をクイック・モッパーとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モッパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。

(2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モッパーが行う。クイック・モッパーがない場合は、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

5 リベロについて

(1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができない。

(2) リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断でベストを着用することがある。

(3) 本大会は、参加チームもアシスタント・スコアラーを担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。

(4) 正規の競技者とリベロ競技者について

①構成メンバーが12名以内の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。

②構成メンバーが13名及び14名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

6 試合前の練習について

(1) 公式練習前、ウォームアップでネット・ボールを使うことができる。ただし、近接コートにボールが入らないようボールキーパーを配置する。

(2) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパー(ユニフォーム以外のものを着用する)として練習に参加することができる。

※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。

(3) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前でウォームアップを行う。

7 試合開始時間について

(1) 第1試合の開始時間は、次ページ「9. 開場時間、練習開始時間、第1試合開始時間、第1試合の補助員について」に記載しているので確認すること。プロトコールはその11分前に開始する。

(2) 第2試合以降は追い込み式とするが、いずれかのチームがその日の初試合となる場合、前試合終了30分後に試合を開始する。

ただし、初日G・Hコート第1試合と2日目F・G・Hコート第1試合は、第2試合のチームが補助員を担当するため、前試合終了60分後に試合を開始する。(次ページ「9」備考欄参照)

(3) 試合が連続する場合、初日・2日目は前試合終了40分後に、最終日は前試合終了50分後に試合を開始する。

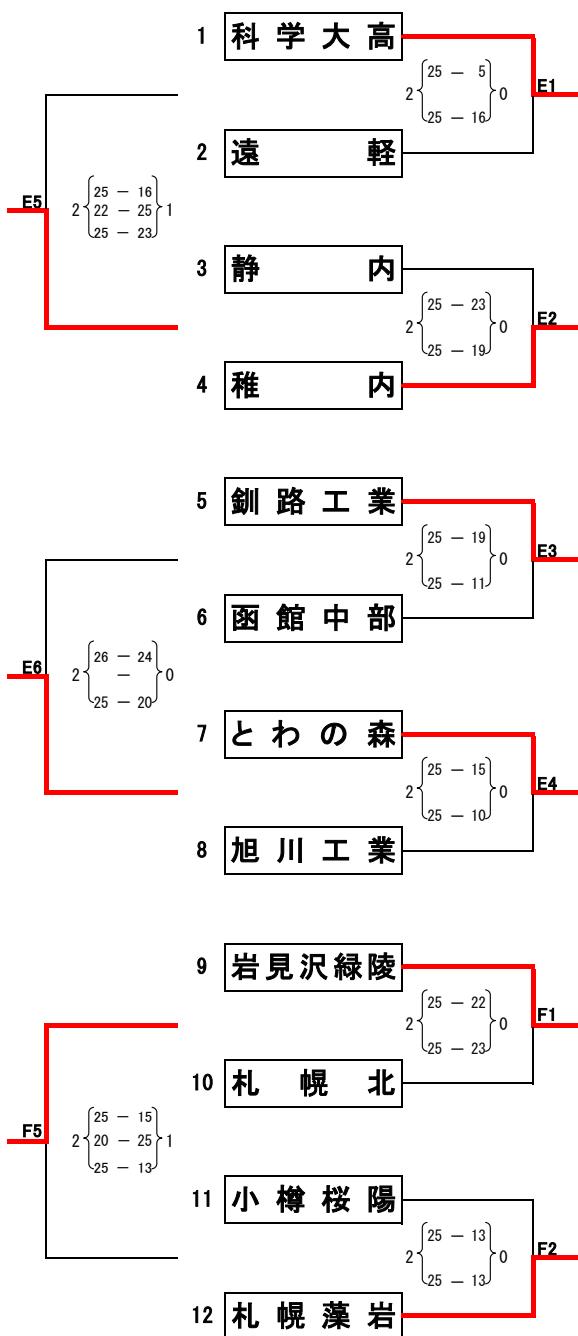
8 その他

(1) 補助役員は、初日・2日目は参加チームにおいて、スコアラー1名、アシスタント・スコアラー2名、点示2名、ラインジャッジ4名の計9名で行う。2チームで分担する場合は5名ずつ計10名で行う。(初日は前試合の勝ちチーム、2日目は前試合の負けチームが行う。) なお、第1試合の補助員は、次ページ「9」に記載しているので確認すること。 最終日の補助役員は全て開催支部生徒が行う。

(2) 開場から第1試合開始前までは、第1試合のチームがコートを半分ずつ使用して練習を行う。その際、両チームで話し合いネットを使っててもよい。第2、第3試合のチームは、第1試合のチームの練習の妨げにならない範囲で、コート周辺を使ってパス程度の練習を行ってもよい。

令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会
予選グループ戦組み合わせ【男子】

6月13日（木）

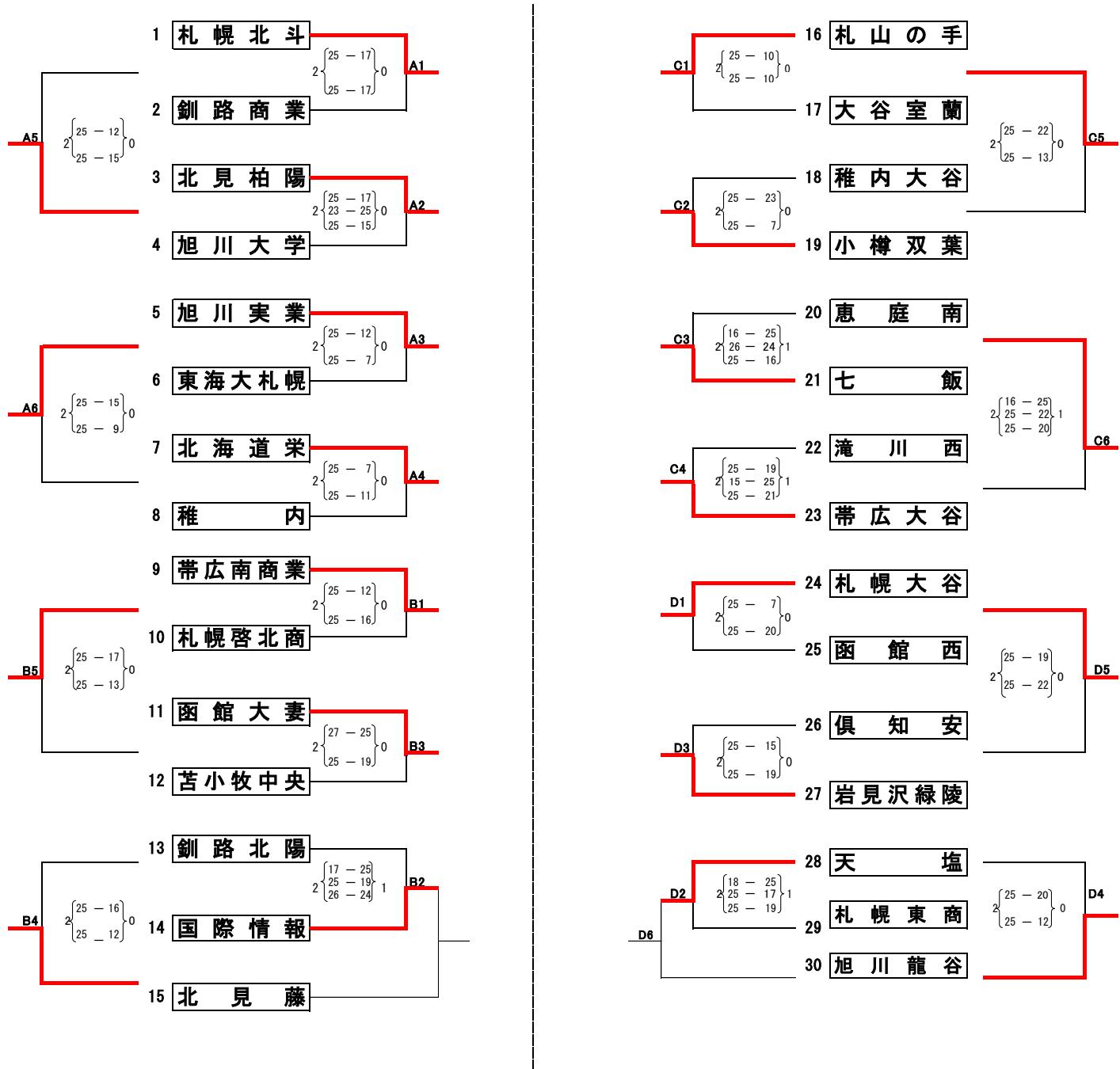


会場：稚内高等学校体育館(Eコート) 稚内市立稚内東中学校(Fコート)
北海道豊富高等学校(Gコート) 豊富町スポーツセンター(Hコート)

令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

予選グループ戦組み合わせ【女子】

6月13日（木）

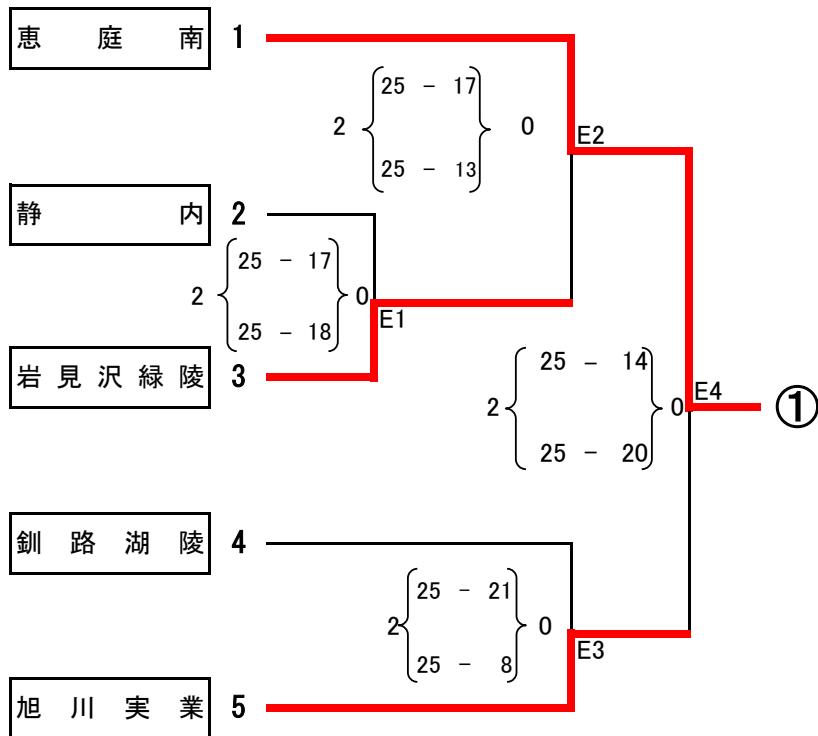


会場：稚内市総合体育館(A・Bコート) 稚内大谷高等学校(Cコート) 稚内市緑体育館(Dコート)

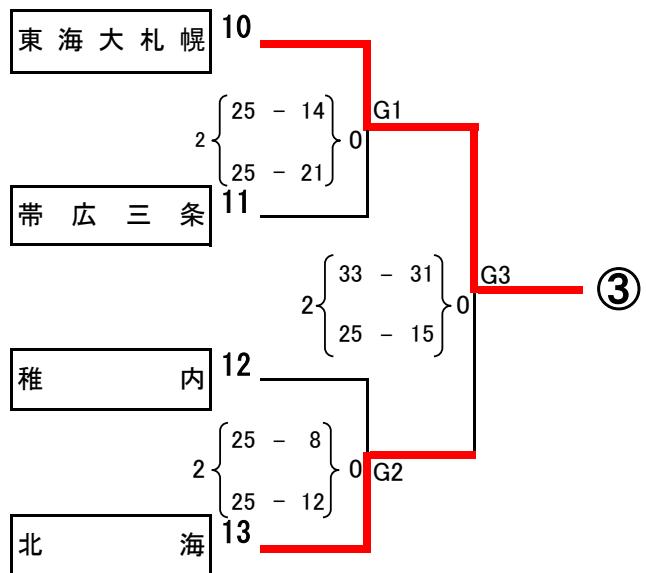
ブロック決勝トーナメント【男子】

6月14日(金)

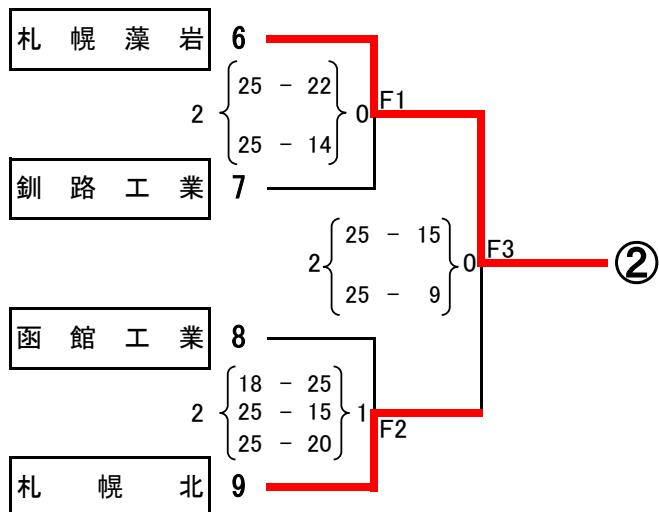
【A ブロック】



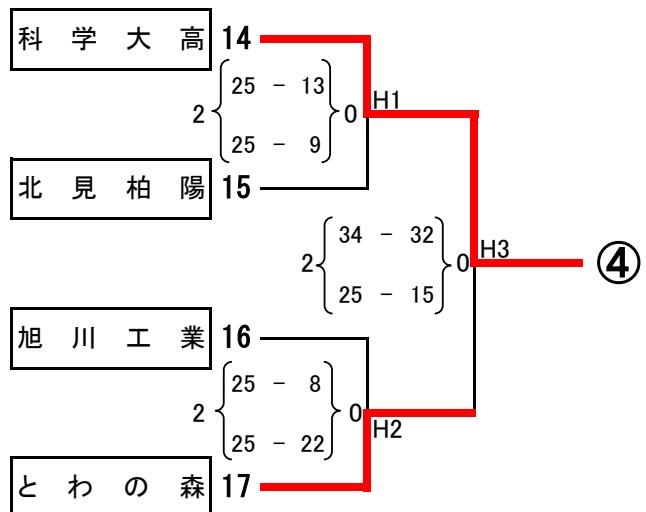
【Cブロック】



【Bブロック】



【Dブロック】

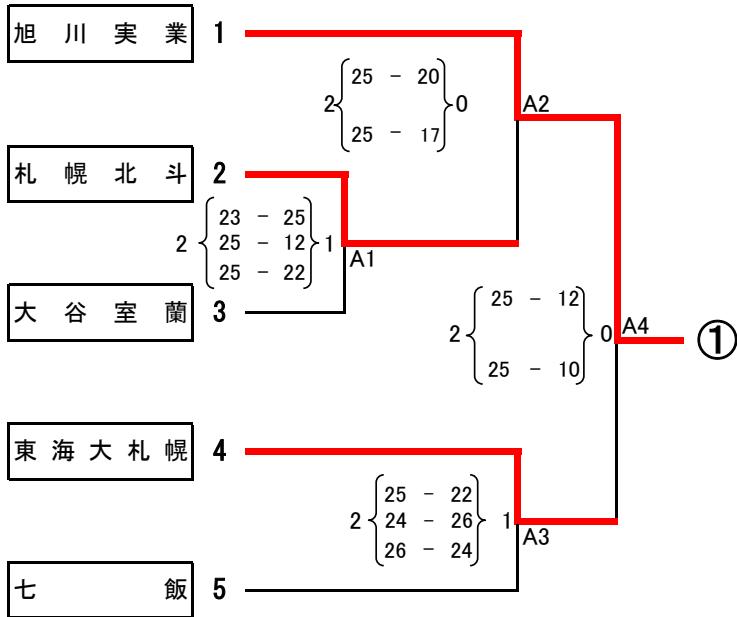


会場：稚内高等学校(Eコート) 稚内東中学校(Fコート) 豊富高等学校(Gコート) 豊富町スポーツセンター(Hコート)

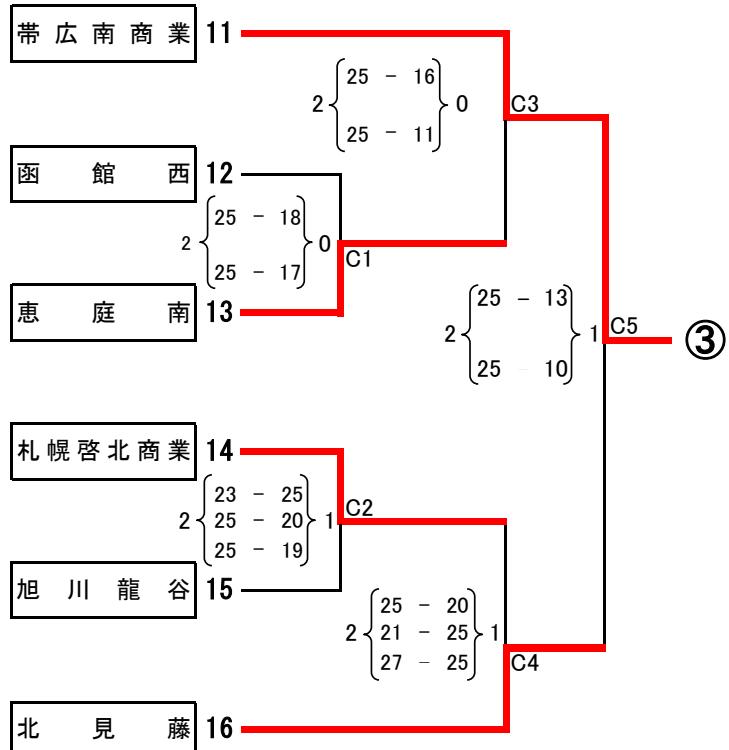
ブロック決勝トーナメント【女子】

6月14日(金)

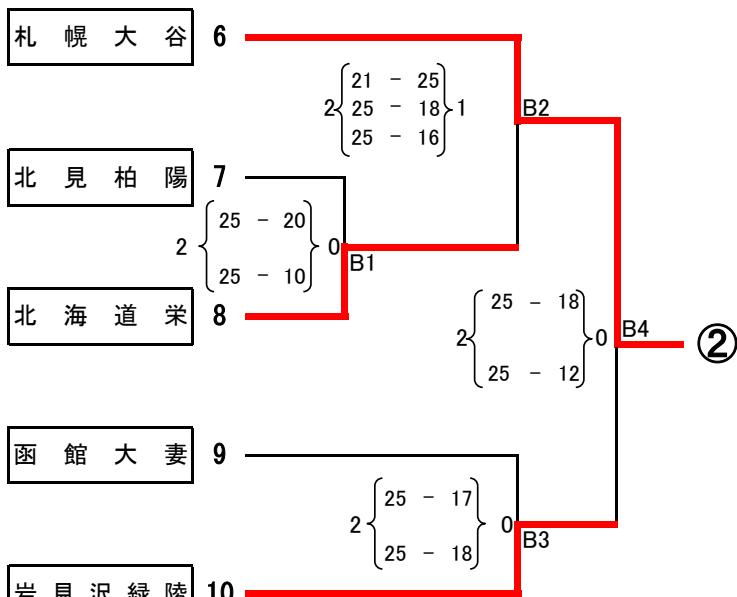
【Aブロック】



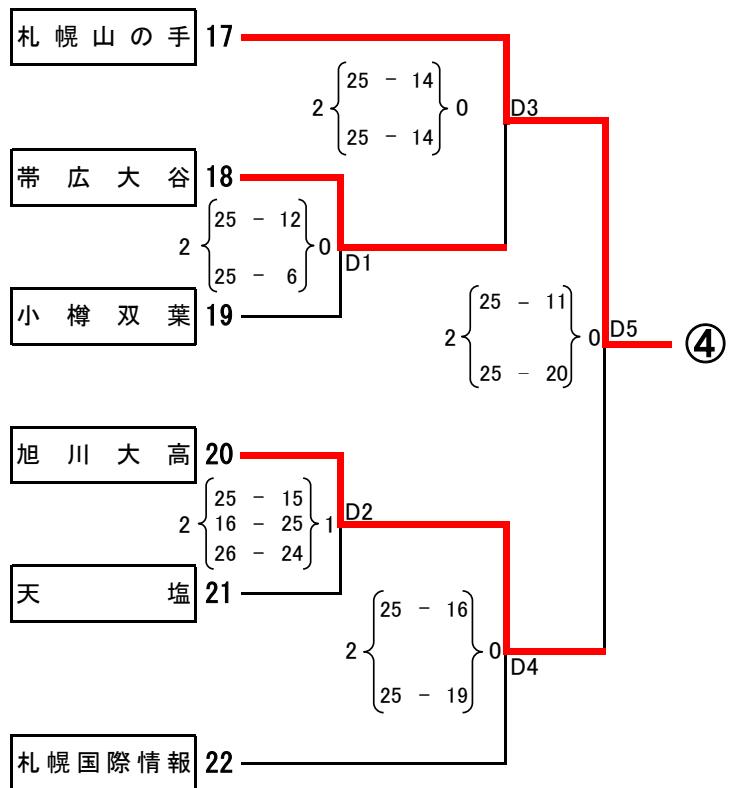
【Cブロック】



【Bブロック】



【Dブロック】



会場 : 稚内総合体育館(A・Bコート) 稚内大谷高等学校(Cコート) 稚内緑体育館(Dコート)

令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

決勝リーグ戦

令和元年6月15日（土）会場：稚内市総合体育館 試合開始：9時00分

女子決勝リーグ戦

A コート			
A	① 旭川実業	1	④ 札幌山の手
1	25 - 21 13 - 25 18 - 25	2	
A	② 札幌大谷	1	③ 帯広南商業
2	25 - 21 18 - 25 13 - 25	2	
A	① 旭川実業	1	③ 帯広南商業
3	23 - 25 25 - 23 22 - 25	2	
A	② 札幌大谷	0	④ 札幌山の手
4	17 - 25 19 - 25	2	
A	③ 帯広南商業	0	④ 札幌山の手
5	24 - 26 14 - 25	2	
A	① 旭川実業	2	② 札幌大谷
6	25 - 22 25 - 19	0	

男子決勝リーグ戦

B コート			
B	① 恵庭南	0	④ 科学大高
1	8 - 25 26 - 28	2	
B	② 札幌藻岩	0	③ 東海大札幌
2	22 - 25 24 - 26	2	
B	① 恵庭南	2	③ 東海大札幌
3	25 - 17 25 - 23	0	
B	② 札幌藻岩	2	④ 科学大高
4	25 - 22 25 - 18	0	
B	③ 東海大札幌	1	④ 科学大高
5	25 - 23 12 - 25 18 - 25	2	
B	① 恵庭南	2	② 札幌藻岩
6	25 - 18 21 - 25 25 - 11	1	

優勝	札幌山の手	3勝	0敗
準優勝	帯広南商業	2勝	1敗
第3位	旭川実業	1勝	2敗
第4位	札幌大谷	0勝	3敗

優勝	科学大高	2勝	1敗
準優勝	恵庭南	2勝	1敗
第3位	札幌藻岩	1勝	2敗
第4位	東海大札幌	1勝	2敗

令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレー部競技大会 兼
全国高等学校総合体育総合体育大会バレー部競技大会北海道予選会

優秀選手一覧

[男 子]

数	学 校 名	フリガナ 氏 名	学 年	備 考
1	北海道科学大学高等学校	ジュウロウザワ タヘイ 十良澤 太平	3	キャプテン・レフト
2	北海道科学大学高等学校	アスミ コウスケ 明日見 向介	3	ライト
3	北海道科学大学高等学校	ニシムラ トウヤ 西 村 透 弥	3	センター
4	北海道科学大学高等学校	サカ ショウマ 坂 翔 馬	3	リベロ
5	北海道科学大学高等学校	カキザキ アキラ 柿 崎 晃	2	レフト
6	北海道科学大学高等学校	サワグチ タクマ 澤 口 巧	2	センター
7	北海道科学大学高等学校	オオホリ ナオヤ 大 堀 尚也	2	セッター
8	北海道恵庭南高等学校	サワダ イッテツ 澤 田 一 徹	3	ミドルブロッカー
9	北海道恵庭南高等学校	カシボウ ソウ 樋 棒 壮	3	リベロ
10	北海道恵庭南高等学校	オクヤマ エイキ 奥 山 永 己	2	セッター
11	北海道恵庭南高等学校	テライ ユウゴ 寺 井 勇 悟	2	ミドルブロッカー
12	市立札幌藻岩高等学校	サワグチ ショウタロウ 澤 口 将太郎	3	キャプテン・レフト
13	市立札幌藻岩高等学校	キクチ ヒロト 菊 池 裕 翔	3	副キャプテン・セッター・ライ
14	東海大学付属札幌高等学校	ミヤシマ ユウセイ 宮 嶋 優 静	3	キャプテン・WS
優勝監督 学校名 北海道科学大学高等学校				
氏名 辻 克典 先生				

令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレー ボール競技大会 兼
全国高等学校総合体育総合体育大会バレー ボール競技大会北海道予選会

優 秀 選 手 一 覧

[女 子]

数	学 校 名	フリガナ 氏 名	学 年	備 考
1	札幌山の手高等学校	コマツ モモコ 小 松 桃 子	3	主将・ミドル
2	札幌山の手高等学校	コシザカ ナツ 越 坂 菜 月	3	副主将・セッター
3	札幌山の手高等学校	カワイ ユイナ 川 合 結 菜	3	サイド
4	札幌山の手高等学校	ヒロセ ミオン 廣瀬 美 音	2	サイド
5	札幌山の手高等学校	ナカムラ サキ 中 村 早 希	2	サイド
6	札幌山の手高等学校	タナカ マホ 田 中 麻 帆	2	サイド
7	札幌山の手高等学校	ホンゴウ アオイ 本 郷 碧 唯	2	ミドル
8	北海道帯広南商業高等学校	サカガミ ミサキ 坂 上 美 咲	3	レフト・主将
9	北海道帯広南商業高等学校	カノウ マアヤ 加 納 麻 彩	3	センター
10	北海道帯広南商業高等学校	サトウ カナミ 佐 藤 奏 望	3	レフト
11	北海道帯広南商業高等学校	ハナモト トウェイ 花 本 遥 衣	2	セッター
12	旭川実業高等学校	ハナモト トモカ 花 本 朋 伽	3	リベロ
13	旭川実業高等学校	ファウラー サシャ ファウラー サシャ	3	
14	札幌大谷高等学校	サカ ホノカ 坂 ほのか	3	キャプテン・ レフト
優勝監督 学校名 札幌山の手高等学校				
氏名 渡邊 徹 先生				

令和元年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技北海道予選会

大会日程：令和元年6月12日（水）～15日（土）当番校：稚内高校

監督主将会議の様子



当番校総務より

当番校校長挨拶

競技委員長より

審判委員長より

開会式の様子



開会宣言

優勝旗・優勝杯返還

大会長挨拶

大会委員長挨拶



祝辞

歓迎の言葉

選手宣誓

専門部表彰

稚内高校生徒会長

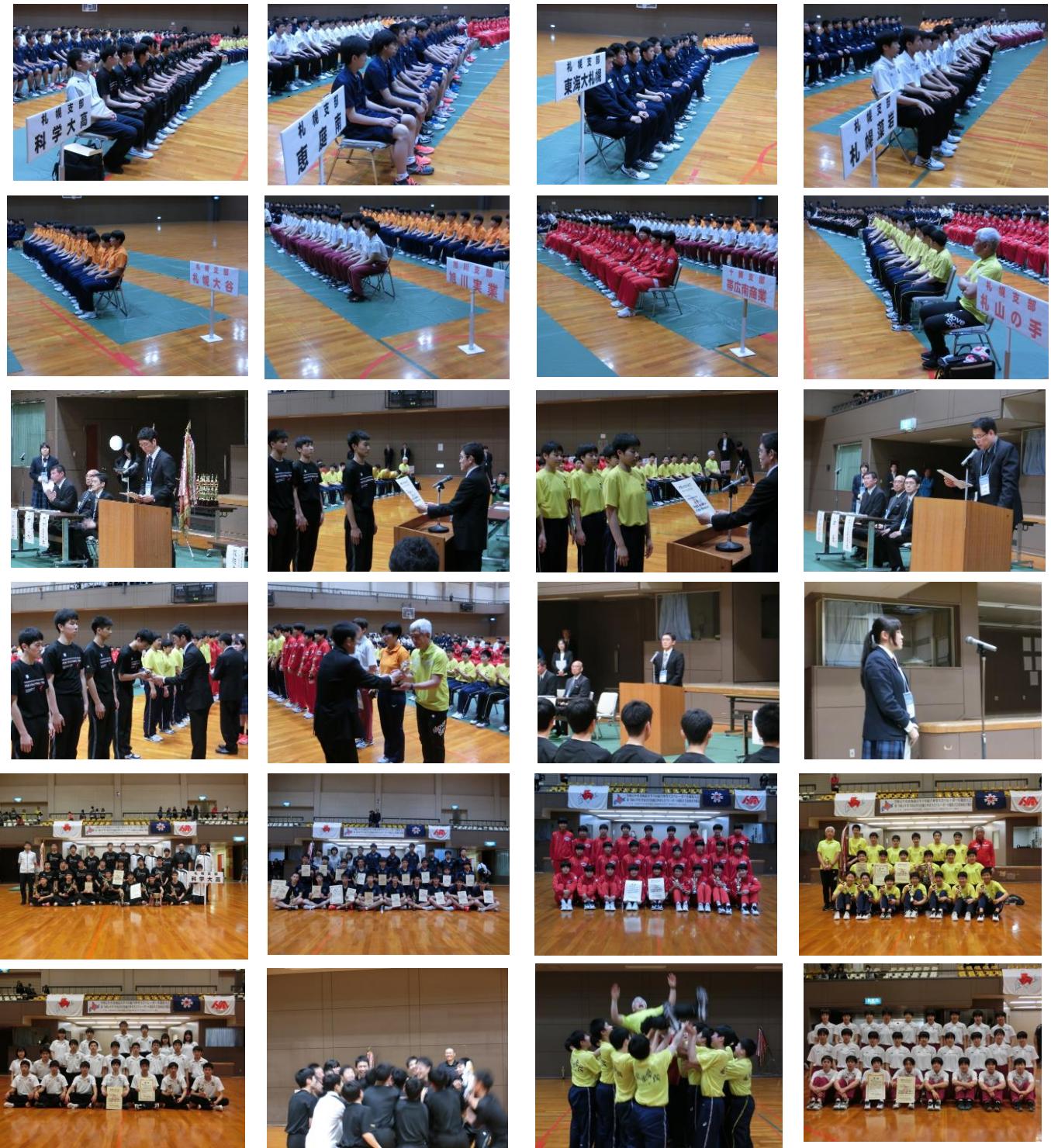
稚内高校男女主将

奈良先生





閉会式の様子



稚内高校の皆さん、大会役員の皆様ありがとうございました。